



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 116 号

R5.5.26

文責 中西 勉



開校 150 周年記念ロゴマークとスローガンに込められた思い

開校 150 周年記念の今年度は、1 年を通じて様々な記念イベントを催していきます。その機運を盛り上げるために、昨年度末に、子供たちからロゴマークとスローガンを募集しました。そして、過日行われた「開校 150 周年記念事業実行委員会」にて、ロゴマークとスローガンを 1 点ずつ選考しました。晴れて選ばれたのは、次の 2 名の作品です。

＜ロゴマーク＞ 6 年 2 組 鈴木愛子さん（右の作品）

＜スローガン＞ 3 年 2 組 竹家実咲さん



「150 年の 思いをつなぐ きみの えがお」

5 月 2 日（火）に行った航空写真撮影では、運動場に全校児童で鈴木さんのロゴマークを基にした人文字を描きました。男川小の校章を基に、「150」の文字を中央に配置し、男川小のシンボルツリーである「ゆずりは」や、校歌に歌われている「桜」や「緋鯉」、「若鮎」などを巧みに取り入れたロゴマークは、開校 150 周年を迎えた男川小をよく表現していると思います。

また、昨日は、運動場で全校練習を始める前に、竹家さんのスローガンをお披露目しました。その披露の際、担当の福田教諭が竹家さんに「一番思いを込めたところはどこですか」と尋ねると、竹家さんは「思いをつなぐ」というところです」とはっきりと自分の考えを述べました。150 年の間、男川小の学び舎でたくさんの笑顔が受け継がれてきたことを想起させる素敵な表現だと感じました。

いよいよ明日は「開校 150 周年記念男川大運動会」です。午前の「小学校の部」と午後の「学区の部」が、それぞれそこに集う人々の笑顔にあふれた心温まるひとときになることを願っています。



プロの新聞記者に学ぶ

昨日、6 年 3 組の子供たちが、東海愛知新聞社編集局長の竹内雅紀様から「取材のポイント」と「文章の書き方」について教えていただきました。情報の集め方やアポイントの取り方、読み手を意識した文章の書き方など、プロの視点からの話に、子供たちは納得の表情で聞き入っていました。今日の学びは、子供たちの今後の表現活動に大いに生きてくるでしょう。



▲作品に込めた思いを述べる竹家さん



▲竹内様の話に聞き入る 6 年 3 組の児童